平成29年度道徳教育全体計画

中１０　練馬区立練馬中学校

教育関係諸法規

・日本国憲法

・教育基本法
・学校教育法
　人間相互の関係についての正しい理解と協同の精神を養う。
・学習指導要領
　教育活動全体を通じて道徳的な心情・判断力・実践意欲と態度などの道徳性を養う。

・東京都教育委員会教育目標
　互いの人格を尊重し思いやりと規範意識のある人間の育成。
・練馬区教育委員会教育目標
　人権・生命を大切にし、人との交流・奉仕などの学習の充実。

時代や社会の課題

・社会の変化に柔軟に対応しうる人間の育成
・時代を超えて変わらない価値あるものを身に付ける。

地域の実態

・元農村地域であり、青少年の健全育成について、協力的な人も多い。
・ともに支え合う形はできていない。

各教科での道徳教育

国語	・表現力と理解力とを育成するとともに言葉で伝え合う力を高める。
社会	・伝統と文化を尊重し、公民的資質の基礎を養う。
数学	・数理的に考察し筋道を立てて考え表現し、判断する力を養う。
理科	・自然への理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。
音楽	・表現や鑑賞を通して音楽を愛好する心情や感性、豊かな情操を養う。
美術	・表現や鑑賞を通して、美や崇高なものを尊重する豊かな情操を養う。
保体	・運動することを通して、心身の健康や集団生活に必要な態度を養う。
技家	・知識および技術を習得し、進んで生活を工夫、想像する態度を育てる。
外国語	・言語や文化に関心・理解をもち国際理解の基礎を養う。

総合的な学習の時間での道徳教育

・現代社会の課題や自ら課題をもち、道徳的な判断力や実践力を育成する。
・体験活動を通し、自分自身を見つめ、互いに認め合い、高め合うとともに自己の価値観を育成する。

推進体制

・校長の方針の下に道徳教育推進教師を中心として全教師の協力・指導体制を整える。

学校の教育目標

「不惜精進
　～自主・勤勉・共生～」

道徳教育の重点目標

・全教育活動を通して、道徳的な判断力、自他の生命を尊重する態度を養う。
・自らの生き方や自他の存在について理解を深め、規範意識をもつ。
・特別支援学級、デイサービスセンターとの相互交流を図りながら障害や介護についても理解を深め、思いやり・感謝の心を育成する。
・国際社会の中に生きる日本人として、また地域や社会に生きる人としての自覚と責任を身に付けられるようにする。

道徳の時間

各学年の重点目標及び重点内容項目

1学年	○中学生としての自覚を高め望ましい生活習慣の確立を目指す。 A-2
2学年	○自主自立の生活態度をもち、かけがえのない自他の生命を尊重する態度を養う。 D-19
3学年	○理想の実現に向け、粘り強く実行していこうとする態度を養う。 A-5
援特学級支	○自己を見つめ、個性を伸ばして充実した生き方ができるようにする。 A-3

指導方針と指導の工夫

・学校教育全体で行う道徳教育を計画的・発展的に補充・深化・統合し、教師は支援者となる。
・自分の考えを基に、書く・討論するなど表現する機会を充実させる。
・自ら学習するための資料として副読本、練馬区道徳資料集、「心みつめて」、「私たちの道徳」、新聞記事文学作品、生徒作文などを利用し、活用する。

家庭・地域・他機関との連携

家庭	・道徳授業地区公開講座を実施する。 ・道徳性のアンケートを行い、保護者の願いを把握する。
地域	・「学校だより」を配布する。 ・地域懇談会を実施する。 ・地域教材の提供を求め、人材の協力を求める。
小学校	・授業公開・学校行事の参観を行う。 ・生徒理解のための情報交換を行う。
関係機関	・各種関係機関との連携を密にし、生徒の健全育成に努力する。

生徒の実態

・思いやりの心をもつことの大切さを理解しているが実際の行動に結び付かない。
・自ら行動する意欲が乏しい。
・自立意識が乏しい。

教職員の願い

・思いやりの心をもった心豊かな生徒。
・基礎的・基本的な学力と基本的な生活習慣を確実に身に付けた生徒。
・自己実現に向けて、個性を磨きながら、努力する生徒。

保護者の願い

・他人に迷惑をかけない子。
・目標に向けて粘り強く頑張れる子。
・豊かな学力を身に付けた子。
・思いやりのある優しい子。
・協調性のある素直な子。

特別支援教育

・自己を生かし、進路を切り開く契機とする。
・他者、相互の認知、受容を促し、自己完成を高める。

特別活動での道徳教育

学級活動	・学級生活を基盤とし、集団成員としての望ましい資質や態度を養う。
生徒会活動	・委員会活動を活発にし、生徒の自治能力を高める生徒会を育成する。
学校行事	・各行事での体験を通して、自主性・協調性・規律および豊かな心情を育成する。

特色ある教育活動・体験活動での道徳教育

・職業調べ及び職業体験。
・デイサービスの方々との交流。

生活指導

・基本的生活習慣を習得させる。
・人権尊重の精神を養う。
・自律心・自己肯定感を育成する。
・社会の一員としての自覚を促す。

学校・学級環境の整備・充実

・教育的環境づくりを行う。
・清掃活動を充実させる。
・学級内の整理整頓・掲示物の整備。